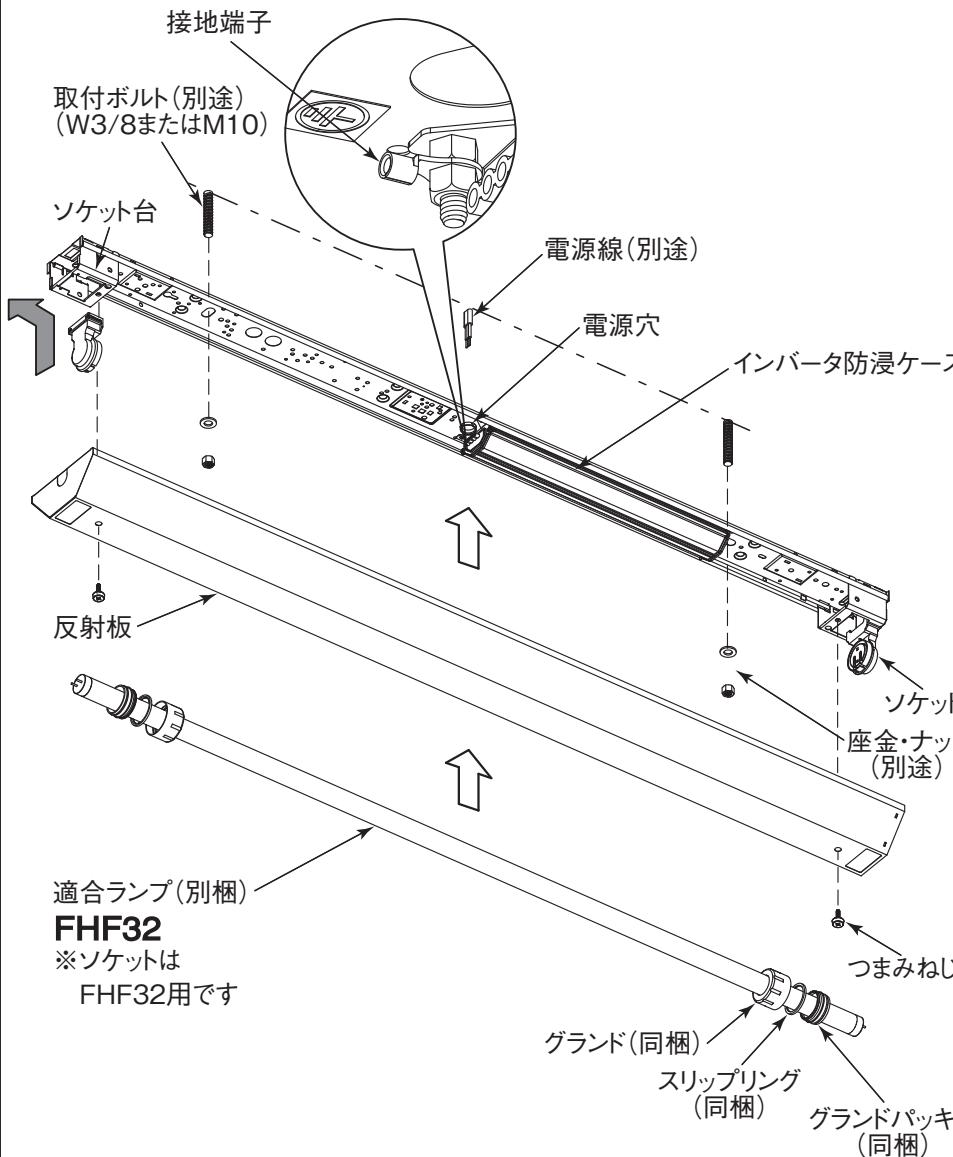


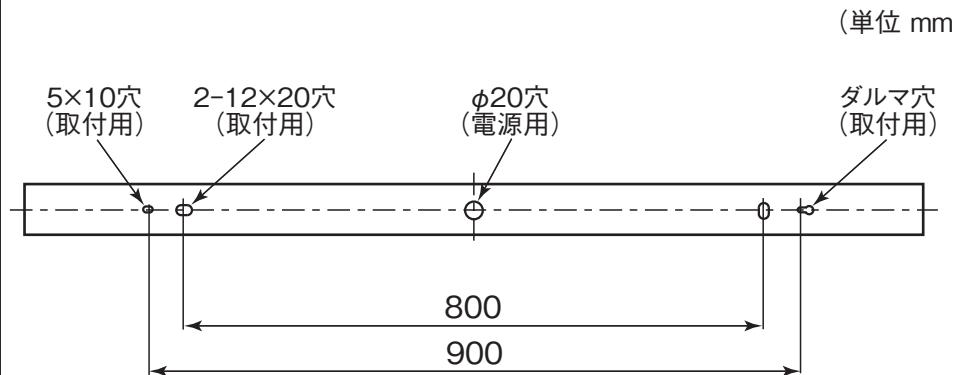


## 各部のなまえと取付けかた

△警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



### 取付穴



## 1 取付前の確認

- 器具質量(約 2.1kg)に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。  
・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。

△警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

## 2 ソケットを取付ける

- 本体に内蔵のソケットをソケット台に取付ける。

## 3 器具本体をボルトに取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

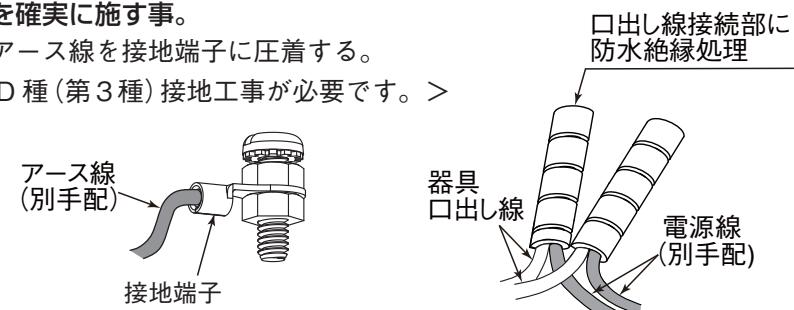
△警告

取付けが不完全な場合落下の原因

## 4 電源線、アース線を接続する

電源線と器具口出線を確実に接続する。

- 口出線長さは、中央電源穴より器具外約 0.15m です。
  - 高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。
  - 電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施す事。
  - アース線を接地端子に圧着する。
- < D 種(第3種) 接地工事が必要です。>



△警告

接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因

△警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

△警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う  
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

## 5 反射板を取付ける

- 反射板を、つまみねじで確実に取付ける。

△注意

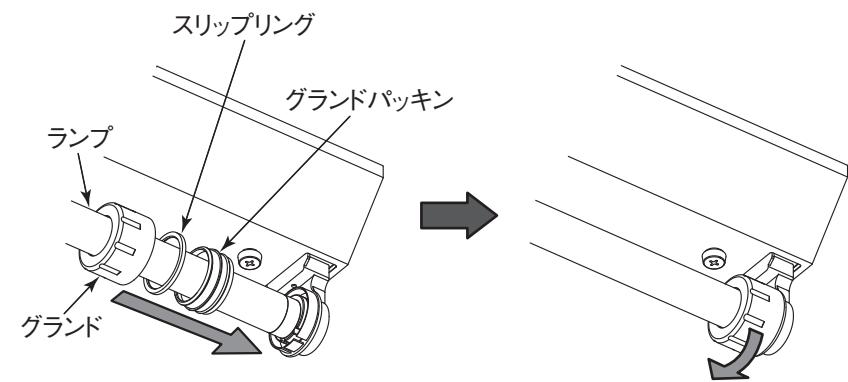
取付けが不完全な場合落下の原因

## 6 ランプを確実に取付ける

- (1) 器具に同梱してあるグランド、スリップリング、グランドパッキンをランプの両端に順次通す。
- (2) ランプピンをソケットの根本まで「カチッ」と音がするまでランプを確実に装着する。

一方に片寄り過ぎますと、接触不良を起こす場合があります。  
(この場合は、ランプを長手方向、左右に動かして片寄りを直す)

- (3) ランプピンをソケットに差し込んだ後、グランドを左右均等に締めつける。



△注意

取付けが不完全な場合落下の原因

○工場出荷時の光束値はランプ定格光束の約 70% に設定されています。